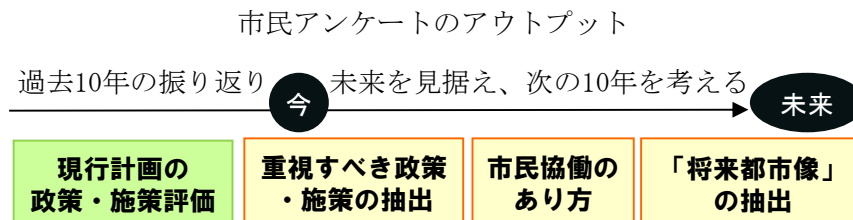


第六次須坂市総合計画 市民総合意識調査 調査設計書

本設計書は第六次須坂市総合計画策定にあたり実施する、市民アンケート（総合意識調査）（以下、本調査）について取りまとめたものである。

1 目的

本調査は、10年間の取り組みを振り返るとともに、これから10年先を見据えて重視すべき政策・施策を把握することを目的に実施する。さらに「目指すべき将来都市像」の抽出、市民が担うべき活動などについても把握を行うこととする。



2 調査項目の設定方針

目的に示したように、本調査では「現行計画の評価（満足度）」「今後重視すべき施策の評価（重要度）」「市民協働のあり方の抽出（市民の主体的行動の現状と意向）」「将来都市像の抽出」の4つの視点で調査項目の設定を行う。

これまでの計画の経年変化という視点から、調査項目はH24年、H26年調査を踏襲しつつ、目的に照らし合わせて整理したうえで不要と判断した項目は削除や変更を行うとともに、今後の10年を考えるための重要なトピックに関するいくつかの新規調査項目を追加する。

調査項目一覧

カテゴリー	具体的な質問
(1) 属性	性別、年齢、居住地区、職業、農地所有、居住年数、居住形態、配偶者の有無と <u>共働きの状況</u> 、世帯構成、子どもの有無（乳幼児、未就学児、小中学生、高校生）、当てはまる同居家族（75歳以上の者、 <u>要介護認定者、障がい者手帳所持者、不登校、引きこもり者</u> ）、 <u>同居していない大学生等の子どもの市外流出状況</u>
(2) 市の施策に対する満足度と重視度	重点プロジェクト（総合戦略）のプロジェクトごとの進捗評価、45施策（第5次後期基本計画）の施策評価（満足度）と重要度、基本目標全体の満足度、 <u>「やや不満」「不満」と回答した施策の理由</u>

(3) 市民の自主的な取り組みの現状と今後の関与の意向把握	<u>基本目標ごとに対応する施策に関する市民の関わり方を確認し、今後さらに取り組みを強化したい活動を把握</u>
(4) 須坂市のまちづくりに対する総合評価	子育てしやすさ、困難を抱える人にとっての暮らしやすさ、愛着度、住みやすさ、定住意向と転出理由
(5) 将来都市像	<u>須坂市の良いところ、10年後に向けて改善しておきたい課題、10年後のあるべき須坂市の姿を表現するキーワードやキャッチフレーズ等</u>
(6) これからのまちづくりの考え方（新規項目）	<u>IC 周辺開発に対する意向、開発エリアに求める機能、あるとよい施設、「須坂 JAPAN」の認知度と関与度、SDG s の認知度・関心度</u>

3 調査項目の具体的イメージ

以降では、各調査項目について、考え方、調査項目イメージについて記載する。

(1) 属性

属性については、H24 年、H26 年の調査を踏襲し比較するものに加え、一部調査項目の追加を行った。特に受益者が特定される施策の分析ができるよう、子育て、要介護認定者、障がいのある方のいる世帯を把握できるようにしている。さらに、昨今の社会課題の傾向に基づき、不登校やいわゆる引きこもりの方の状況や、須坂市の課題でも若者の進学による市外転居状況についても把握できるように設計している。

(2) 市の施策に対する評価・重視度

①政策別現状評価・影響分析

7つの基本目標ごとの現状評価（満足度）の把握を行う。過去調査との比較分析ができるよう、選択肢（5件法）は踏襲している。また、現状評価が低い項目は、理由を記述できるようにすることで、不満理由の特定を行う。

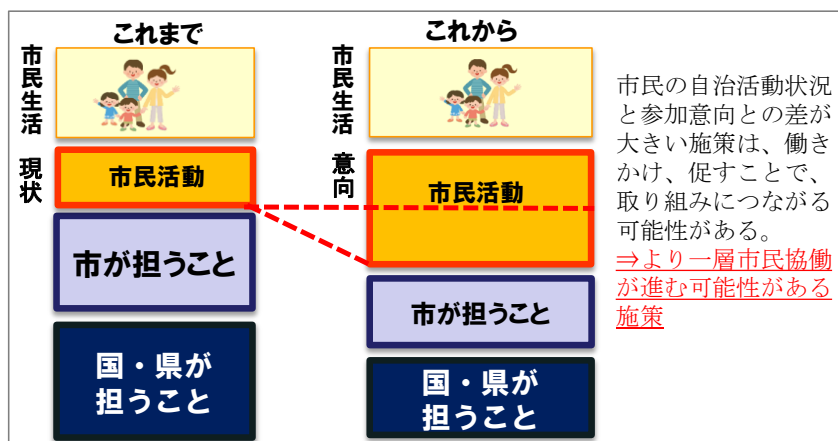
また、どの施策が基本目標（政策）に大きな影響を及ぼしているのかを把握するために重回帰分析を行う。加えて、どの政策が「住みやすさ」や「愛着」といった総合満足度に高い影響を与えるについても分析を行う。

②施策別重要度

過去調査を踏襲し、5件法により施策ごとの重要度を調査し、満足度と合わせて分析することで施策の優先順位付けを行い、市民ニーズが高い施策の把握を行う。

(3) 市民の自主的な取り組みの現状と今後の関与の意向把握

今後、市民の自治活動の推進が重要であり、市民一人ひとりが担い手となりうる活動を増やしていくことが必要である。施策に対する市民の関わり方を整理し、現在の活動状況と今後の意向について把握する。



施策ごとの整理の視点

施策に対する市民の関わり方	主な該当政策	具体的な設問イメージ
住民同士の助け合いを基本とし、市民の積極的な関わりが求められる施策	子育て、高齢者、地域コミュニティづくり 等	・ 高齢者や子どもの見守り活動、ボランティアや市民活動への参加
市民が「参画や協力」をしていくことが求められる施策	スポーツ、文化・歴史の継承、地産地消、観光振興、地域公共交通の維持、環境保全 等	・ 公民館活動やスポーツ活動、伝統行事等への参画、地元農産物の購入、公共交通の積極利用、環境にやさしい生活の実践
個人の意識醸成や行動を働きかける施策	健康づくり、交通マナーの向上、人権尊重等	・ 健康維持増進の取り組み、交通マナーの向上
市民が関与できる部分が少ない施策	工業振興、道路整備、下水道整備 等	・ 調査項目の設定が難しい

(4) まちづくりの総合評価

個別の施策評価ではなく、須坂市のまちづくり全体への評価指標として、子育てのしやすさ、困難を抱える人の暮らしやすさ、住みやすさ、愛着度を設定した。

(5) 将来都市像

須坂市の良さ、改善点、2030 年に向けての目指すイメージやキャッチフレーズなど、将来像を描く材料を収集する。多様な意見と数量的な比重を把握するため、自由記述（質的データ）と数量的なデータの両方を設け、「将来像」を描く材料を収集する。

(6) これからのまちづくりの考え方（新規項目）

須坂市独自の指標（須坂 JAPAN）や環境変化要因（IC 周辺開発）、世界的な動向と連動したまちづくりのあり方（SDG s）といった、今後 10 年を考えるにあたっての新しいトピックを盛り込んでいる。

令和元年度 須坂市市民総合意識調査 ご協力をお願い



市民の皆様には、日頃から市政運営についてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では「第五次須坂市総合計画後期基本計画」が令和2年度で終了することから、その後の新たな10年間のまちづくりの方針を示す「第六次須坂市総合計画」を策定します。

策定にあたっては、市民の皆さまにも市の望ましい未来を考えていただくとともに、少子高齢化等による今後の厳しい財政状況のなか、どのような施策を優先的に進めるべきかについてご意見を伺うために、本アンケート調査を実施することになりました。同封の冊子にて、須坂市を取り巻く環境変化や未来予測をまとめています。これらの情報も参考にさせていただきながら、忌憚ないご意見をお寄せいただければ幸いです。

アンケートは、市内にお住まいの18歳以上（平成31年1月1日時点）の方の中から3,000人を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年7月

須坂市長

三木正夫

＜ご記入にあたってのお願い＞

- 本アンケートは無記名でお答えいただき、結果は統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されることはありません。率直なご意見をお書きください。
- **必ず「宛名のご本人」様がお答えください。**なお、無作為抽出のため、ご病気等によりご回答いただけない方にも届いてしまう場合がございますので、その際はご容赦くださいますようお願いいたします。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和元年7月25日(木)まで**にお近くのポストへ投函していただきますようお願い申し上げます。

《この調査のお問い合わせ先》

須坂市 総務部 政策推進課 政策秘書係

電話：026-248-9017（課専用）

電子メール：seisaku@city.suzaka.nagano.jp

I あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80代以上 |

問1-3 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|------------|--------|-------|
| 1. 須坂 | 2. 小山 | 3. 森上 | 4. 日滝 |
| 5. 豊洲 | 6. 日野 | 7. 井上 | 8. 高甫 |
| 9. 旭ヶ丘 | 10. 仁礼・峰の原 | 11. 豊丘 | |

問1-4 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|--------------------|-------------|
| 1. 会社員 | 2. パート・アルバイト・契約社員等 | |
| 3. 自営業・経営者（農林業を除く） | 4. 農林業 | 5. 家事（内職含む） |
| 6. 公務員（教員含む） | 7. 団体職員 | 8. 学生 |
| 9. 無職 | | |
| 10. その他（ | | ） |

問1-5 問1-4で「5. 家事（内職含む）」「8. 学生」「9. 無職」と回答した方以外
勤務地をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 須坂市内 | 2. 長野市 |
| 3. その他県内市町村
(市町村名) | 4. 県外市町村
(市町村名) |

問1-6 農地の所有状況（自己所有/家族所有）をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 所有している | 2. 所有していない |
|-----------|------------|

問1-7 須坂市での居住年数をお答えください。(1つに○)

※実際に生活した期間の合計年数をお答えください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年以下 | 2. 6～10年 | 3. 11～20年 | 4. 21～30年 |
| 5. 31～40年 | 6. 41～50年 | 7. 51年以上 | |

問1-8 お住まいの状況をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 持ち家（家族所有を含む） | 2. 公営住宅 |
| 3. 民営の賃貸住宅 | 4. 社宅・寮 |
| 5. その他（ | ） |

問1-9 配偶者の有無についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない(死別・離婚を含む) |
|-----------|----------------------|

問1-10 あなたと配偶者のお仕事(パート・アルバイト含む)の状況についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|------------------------|
| 1. 共働きである | 2. 共働きではない(夫婦どちらかのみ就労) |
| 3. 夫婦ともに無職 | |

問1-11 同居しているご家族の構成についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦だけ | 3. 親子(2世帯) |
| 4. 親と子と孫(3世帯) | 5. その他() | |

問1-12 同居しているご家族の中に18歳未満の方はいらっしゃいますか。

(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問1-13 問1-12に「1. はい」と回答した方のみ

同居している18歳未満のご家族の年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------------------|--------|
| 1. 3歳未満 | 2. 3歳から小学校入学前 | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生(高校生相当の年齢を含む) | |

問1-14 同居しているご家族の中で、以下に当てはまる方(自身を含む)がいらっしゃる場合、あてはまる番号をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 不登校となっている方 | 2. 75歳以上の方 |
| 3. 要介護認定を受けている方 | 4. 障がい者手帳を持っている方 |
| 5. 外出や家族以外との交流に困難を抱えている方 | |

問1-15 ご家族(同居していない家族を含む。自身以外。)の中に、大学生以上の未婚の方はいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問1-16 問1-15に「1. はい」と回答した方のみ

大学生以上で未婚のご家族のお住まいをお答えください。(1つに○)

- | | | |
|------------------|---------|------------------|
| 1. 同居 | 2. 市内別居 | 3. 市外(県内)(市町村名) |
| 4. 市外(県外)(市町村名) | | |

II 須坂市の施策に対する評価

問2-1 現在の総合計画の中で掲げている以下の4つの重点プロジェクト（重要度が高く、特に集中して取り組む分野横断的なプロジェクト）について、この5年間、どのように変化していると思うかお答えください。（1つに〇）

重点プロジェクトの内容はカッコの中を参考にしてください。

		重点プロジェクトに対する評価				
		良くなっている	やや良くなっている	やや悪くなっている	悪くなっている	わからない
		1	②	3	4	0
1	須坂市にしごとをつくり、安心して働けるようにする (強固な産業基盤の構築をすすめ、市内に安定した働き口を創出するとともに、地元で創業が出来る支援体制を整備する)	1	2	3	4	0
2	須坂市への新しい人の流れを創る (移住を促進するため、実際に須坂市を訪れる機会や移住相談の機会を充実させるとともに、移住者同士の交流を促進する)	1	2	3	4	0
3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる (子育て支援サービスを充実し、希望する数の子どもを産み育てられる環境を整備する)	1	2	3	4	0
4	安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する (防災体制の強化を始め、緊急医療の充実、公共交通の確保等を進めるとともに、地域の自治会活動の活発化を促進する)	1	2	3	4	0

問2-2 以下の基本目標ごとの各施策の取組み状況について、あなたはどの程度満足していますか。また、今後取り組むことがどの程度重要だと考えていますか。各施策のカッコの中の考え方を参考に、市の取組をイメージしながらご回答ください。

基本目標①：みんなが助け合い、健康に暮らせるまちづくり

		満足度					重要度				
		満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	重要	どちらかといえば重要	普通	どちらかといえば重要でない	重要でない
施策NO	【記入例】満足度、重要度に1つつ〇	1	②	3	4	5	1	2	3	④	5
1	健康づくりの充実 (健康診断・相談、保健指導、各種健康教室が充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	地域医療を支える体制づくり (休日・夜間及び救急医療体制や、各種検診が充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	みんなで助け合う福祉 (地域の見守り活動をはじめとする、市民によるボランティア活動が活発である)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	高齢者福祉の充実 (ひとり暮らし支援、介護予防、相談窓口などサービスが充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	障がい者福祉の充実 (障がい者の社会参加、歩道段差解消など必要な支援、サービスが充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	生活困窮者への支援 (生活に困っている人が気軽に相談や支援を受けながら自立に向けて生活できる)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標①全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標①の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標②：子どもたちが未来に夢をもてるまちづくり

		満足度					重要度				
		満足	ば満足 どちらかといえ	どちらでもない	ば不満 どちらかといえ	不満	重要	ば重要 どちらかといえ	普通	ば重要でない どちらかといえ	重要でない
7	特色ある魅力的な学校づくりの推進 (須坂の歴史や文化を生かした教育を展開し、感性豊かで元気な子どもが育っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	児童・青少年健全育成の推進 (家庭や地域の中で、体験や交流を通じ生きる力が育まれている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	子育て環境の充実 (相談窓口、親子が集える場所、預かり保育など子育て支援サービスが充実している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標②全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標②の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標③：豊かな自然あふれる地域環境を守り、安心して安全に暮らせるまちづくり

		満足度					重要度				
		満足	満足 どちらかといえ	どちらでもない	不満 どちらかといえ	不満	重要	重要 どちらかといえ	普通	重要でない どちらかといえ	重要でない
10	自然環境の保全 (自然にふれあう機会が多く、効果的な自然環境の保全が進められている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11	環境を守る活動の推進 (節電や節水、省エネ、清掃活動など環境保全の取組みが進んでいる)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12	循環型社会の形成と環境衛生施設の適切な管理 (市民や事業者によりごみを減らす、再使用、修理して使う、リサイクル等が行われている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					重要度				
		満足	満足 どちらか といえ ば	どちら でも ない	不 満 どちら かとい え ば	不 満	重要	重要 どちら かとい え ば	普通	重要 でない どちら かとい え ば	重要 でない
13	防災体制の充実 (防災設備や備蓄品の充実など防災に対する備えがあり、防災体制が整っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14	消防・救急体制の充実 (消防防災施設の充実、医療機関との連携による救急体制が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15	交通安全対策の推進 (交通安全意識の啓発、子どもや高齢者が安心して歩ける道路・歩道が整っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16	地域安全対策の推進 (防犯パトロール、防犯意識の啓発が進み、市民が犯罪や事故に対する不安を感じることなく安心して暮らしている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17	消費生活の安全 (振り込め詐欺などから市民を守るため、地域と連携して被害防止に努めている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標③全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標③の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標④：多様な文化を学び育て、交流する創造的なまちづくり

		満足度					重要度									
		満足	満足	どちらかといえ ば	どちらでもない	不満	どちらかといえ ば	不満	重要	重要	どちらかといえ ば	普通	どちらかといえ ば	重要でない	重要でない	
18	生涯学習の機会充実 （学習機会の拡大や学習成果の発表の場を提供するなど公民館が生涯学習の拠点となっている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19	生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進 （個人が生涯学習、歴史・文化・芸術に親しめるまちづくりが図られている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20	スポーツ活動の充実 （指導者の育成、スポーツ施設の充実などにより、市民のスポーツ活動が盛んである）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標④全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標④の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標⑤：みんなの活力があふれるまちづくり

		満足度					重要度									
		満足	満足	どちらかといえ ば	どちらでもない	不満	どちらかといえ ば	不満	重要	重要	どちらかといえ ば	普通	どちらかといえ ば	重要でない	重要でない	
21	農業の活性化 (おいしい農産物の生産や 農産物の販路拡大、耕作放棄地対策が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22	森林の多面的機能の維持保全と共生 (松くい虫対策や間伐材の活用など森林が緑の財産として育成管理されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		満足度					重要度									
		満足	満足	どちらかといえ ば	どちらでもない	不満	不満	どちらかといえ ば	重要	重要	普通	どちらかといえ ば	重要でない	重要でない		
23	既存産業の高度化・高付加価値化の促進 （市内企業が、産学官連携や補助金獲得により新たな製品開発を行い、競争力を高めるための活動を行っている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24	新産業創出・企業誘致の推進 （時代を先導する産業分野の企業や新たに誘致した企業が、活発に事業展開している）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25	商業の活性化 （市内で必要な買い物ができる環境がある）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26	観光産業の振興 （「おもてなし」運動や土産品の充実など観光産業の振興が図られている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27	観光資源の活用 （観光案内板の設置のほか、蔵の町並みや歴史などの観光資源の活用が進んでいる）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28	雇用機会の充実と産業人材の育成 （求職者への就業支援を通じて、働く意欲がある人が、希望する職業に就いている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29	労働環境の整備と勤労者福祉の増進 （働きやすい職場づくりや勤労者の福利厚生が図られ、勤労者がいきいきと働き、充実した生活を送っている）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標⑤全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標⑤の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標⑥：みんなが快適に生活できるまちづくり

		満足度					重要度				
		満足	満足 どちらかといえば	どちらでもない	不満 どちらかといえば	不満	重要	重要 どちらかといえば	普通	重要でない どちらかといえば	重要でない
30	土地の有効利用の推進 (空地・空き家が減り、耕作放棄地の解消など環境整備がされている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31	良好な景観要素の保全と育成の推進 (自然景観や蔵の町並み、身近にある花壇など須坂らしい景観となっている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32	水環境の保全と水道水の安定的な供給 (安全な水道水が安定供給されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33	橋や道路整備の推進 (道路網の整備や修繕、歩道の段差解消など整備がされている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34	安心で快適な住環境の推進 (公共施設や住宅の耐震診断・耐震補強が図られ、快適な住環境が整備されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35	公共交通の確保 (市民バス、乗合タクシーなど便利で持続可能な公共交通の環境が整っている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標⑥全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標⑥の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

基本目標⑦：みんなが主役のまちづくり

		満足度					重要度				
		満足	満足 どちらか といえ ば	どちら でもない	不満 どちら かとい え ば	不満	重要	重要 どちら かとい え ば	普通	重要 でない どちら かとい え ば	重要 でない
36	人権が尊重される社会の実現 (地域に存在する人権侵害が解消され、人権意識が高い地域社会が築かれている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37	男女共同参画社会の実現 (家庭、職場で性別にとらわれず、自分らしい生き方ができる社会が実現している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38	多様な活動主体の参画による地域社会づくりの推進 (ボランティアなど地域活動をしている個人などのつながりが充実し、交流している)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39	特色をいかした地域振興の推進 (市の特産品や歴史などが地域ブランドとして認知され、地域振興が図られている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40	情報発信、広聴・広報の充実 (「広報すぎか」や「須坂市ホームページ」などを通じて知りたい情報がいつでも入手でき、わかりやすく提供されている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41	ICTによる利便性の向上と効率的なシステム運用 (情報通信技術を活用し快適な生活が送れている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
42	地域コミュニティの活性化 (区(自治会)活動が活発に行われている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
43	地域資源をいかした移住定住の促進 (移住定住先として選ばれるような、相談体制・情報発信・受け入れ態勢整備が行われている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
44	市民と共に歩む、信頼され活気ある組織・体制づくり (市職員が意欲をもって市民のみなさんとともに課題解決に取り組んでいる)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
45	長期的展望に立った財政運営 (長期的視点に立ち、収支バランスの取れた財政運営が行われている)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標⑦全体の満足度・重要度		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

基本目標⑦の中で「4.どちらかといえば不満」「5.不満」と回答した項目のある方のみ
項目番号と「不満」と回答した理由をお書きください。

項目番号	不満の理由・ご意見

Ⅲ あなたご自身の活動の状況や今後の意向

問3-1 以下の各項目について、あなたの普段の活動状況や今後の意向をお答えください。

		現在の活動状況					今後の 取組み意向		
		そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	取 組 み を 増 や し た い	現 状 維 持 の ま ま	取 組 み を 減 ら し た い
番号	【記入例】活動状況、取組み意向に 一つずつ〇	1	②	3	4	5	①	2	3
1	健康維持・増進に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
2	高齢者や子どもの見守り活動に参加している	1	2	3	4	5	1	2	3
3	障がいのある方や困難を抱えている方に対して、必要があれば日常的に手助けをしている	1	2	3	4	5	1	2	3
4	子どもや子育て家庭をあたたく見守り、必要があればサポートしている	1	2	3	4	5	1	2	3
5	地域の子どもの健全育成活動に携わっている	1	2	3	4	5	1	2	3
6	環境にやさしい生活を実践している	1	2	3	4	5	1	2	3
7	リサイクルや分別などによりごみの減量に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
8	災害に対する備えを行っている	1	2	3	4	5	1	2	3
9	交通ルールや交通マナーを守っている	1	2	3	4	5	1	2	3
10	防犯活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3

		現在の活動状況					今後の 取組み意向		
		そう 思う	そう 思う どちらか といえ ば	ど ち ら か と も い え な い	ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	取 組 み を 増 や し た い	現 状 維 持 の ま ま	取 組 み を 減 ら し た い
11	公民館や図書館などで自主的な学習に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
12	生涯学習・文化芸術に親しみ、地域の人々と一緒に活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
13	日頃スポーツを行っている	1	2	3	4	5	1	2	3
14	地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
15	国際交流活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
16	地元の農産物を積極的に購入するなど、地産地消を心がけている	1	2	3	4	5	1	2	3
17	日用品などできるだけ市内のお店で買い物するようにしている	1	2	3	4	5	1	2	3
18	農産物を市外の人にすすめている	1	2	3	4	5	1	2	3
19	須坂市を観光地として市外の人にすすめている	1	2	3	4	5	1	2	3
20	緑化や美化などの景観の保全活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
21	電車、バス、乗合タクシーを利用している	1	2	3	4	5	1	2	3
22	日常的に人権を尊重するようにしている	1	2	3	4	5	1	2	3
23	性別にとらわれず、仕事や家事・育児をしている	1	2	3	4	5	1	2	3
24	ボランティアや市民活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
25	「広報須坂」を読んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3
26	日常的にインターネットやスマートフォンなどの ICT を活用している	1	2	3	4	5	1	2	3
27	自治会活動に参加している	1	2	3	4	5	1	2	3
28	近所づきあいを大切にし、日常的に支え合っている	1	2	3	4	5	1	2	3
29	市政に関心がある	1	2	3	4	5	1	2	3
30	市民として、さまざまな形で市政に参加している	1	2	3	4	5	1	2	3

Ⅳ 須坂市のまちづくりに対する評価

問4-1 須坂市は子育てしやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問4-2 問4-1で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」と回答した方のみ
須坂市は子育てしやすいまちだと思わない理由をお書きください。

--

問4-3 須坂市は高齢者や障がいのある方など困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえばそう思わない | 5. そう思わない | |

問4-4 問4-3で「4. どちらかといえばそう思わない」「5. そう思わない」と回答した方のみ
須坂市が高齢者や障がいのある方など困難を抱えた人が安心して暮らせるまちだと思わ
ない理由をお書きください。

--

問4-5 須坂市に愛着を感じますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------|
| 1. 感じる | 2. どちらかといえば感じる | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば感じない | 5. 感じない | |

問4-6 須坂市は住みやすいまちだと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|------------------|------------------|--------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば住みにくい | 5. 住みにくい | |

問4-7 須坂市に今後も住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 今の場所で住み続けたい | 2. 須坂市の他の場所に住みたい |
| 3. 市外に引越したい | 4. 近いうちに市外に移る予定がある |
| 5. その他 (|) |

問4-8 問4-7で「3. 市外に引越したい」「4. 市外に移る予定がある」と回答した方のみ
須坂市外に引越したいと考えている理由としてあてはまるものを以下からお選びください。
(すべてに○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 住宅や土地の価格・広さに満足出来ないから | 2. 通勤・通学に不便だから |
| 3. 日常の買い物が不便だから | 4. 自然災害への備えが不十分だから |
| 5. 騒音などの生活環境に満足出来ないから | 6. 医療・福祉環境に満足出来ないから |
| 7. 保育・子育て・教育環境に満足できないから | 8. 人間関係やつきあいがわずらわしいから |
| 9. 町会役員やPTAなど地域活動がめんどうだから | 10. 治安・防犯が心配だから |
| 11. ショッピングや娯楽を楽しめる場所が少ないから | 12. 働きたい仕事や企業等がないから |
| 13. 商売や事業を行いやすい環境でないから | 14. 仕事、学校、家族の都合でやむをえず |
| 15. その他 (|) |

V 須坂市の将来都市像

問5-1 総合計画は今後10年間の須坂市のあり方を決めるものです。10年後も残したいと思える須坂市の強みや魅力について自由にお書きください。

問5-2 10年後に向けて改善したいと思う須坂市の改善点について自由にお書きください。

問5-3 これからの10年間で、須坂市にどのようなまちになってほしいと思いますか。

以下からあてはまるものをお選びください。

(3つまで○)

1. 産業が発展し、地元で雇用が豊富にあるまち
2. ささやかでも安定した暮らしができるまち
3. 豊かな自然や田園風景が守られているまち
4. 利便性が高く、快適に生活できるまち
5. 災害に強く、犯罪や事故がない安全なまち
6. 医療や福祉が充実し、安心して暮らせるまち
7. 健康づくりに取り組み、健康寿命が長いまち
8. 地域で協力し合い、支え合いながら暮らせるまち
9. 市民と行政の協働が根付いているまち
10. 子どもを安心して産み育てられるまち
11. 充実した教育が受けられ、人材が育つまち
12. 多くの人が訪れ、賑わいのあるまち
13. 地域に誇りや愛着を持てるまち
14. 市民の自主的な学びや活動が盛んなまち
15. 地域の個性や伝統文化を守り、大切にするまち
16. 時代変化に対応し、先進的な取り組みを行うまち
17. 財源確保や行政改革の工夫がされ、安定した行政運営が行われるまち
18. その他（ ）

問５-４ 2030年の望ましい須坂市の姿を表現する具体的なキーワードやキャッチフレーズなど、須坂市の将来都市像についてご自由にお書きください。

--

問5-5 近年、世界的にSDGs（国連の持続可能な開発目標）が注目され、日本でも国や地方自治体の政策で取り組む動きが広がっています。あなたはSDGsについてどの程度知っていますか。（1つに○）

1. 内容まで知っている
2. 名前だけ知っている
3. 知らない

【SDGs とは】

SDGs（エスディーゼーズ：持続可能な開発目標）とは、2015年の国連サミットにおいて採択された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための教育、エネルギー、経済成長と雇用など17の目標（次ページ参照）から構成され、市町村が持続的に発展するためにも役に立つ重要な視点が盛り込まれています。

問5-6 以下のSDGsの17目標の内容や自治体に求められる役割をお読みになり、須坂市において取り組みが遅れていると感じる目標の番号を選んで○をつけてください。

(3つまで○)

番号	目標		自治体に求められる役割
1	貧困	あらゆる場所、あらゆる形態の貧困を終わらせる。	すべての市民が必要最低限の暮らしを確保することができるよう、きめ細やかな支援策を実施すること。
2	飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	自治体内の資源を活用して、食料を生産する活動を推進し、安全な食料確保に貢献すること。
3	保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	国民皆保険制度の運営や良好な都市環境の維持を通じて、市民の健康状態の維持・改善に貢献すること。
4	教育	すべての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	学校教育(特に義務教育)と社会教育の両面で、すべての市民に対して質の高い教育機会を提供すること。
5	ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	女性や子供等の弱者の人権を守るとともに、行政職員等における女性の割合を増やすこと。
6	水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	市民が安全で清潔な水を使えるよう、水道事業を維持するとともに、水源地の環境保全を行うこと。
7	エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。	公共施設の省エネを推進し、市内の再生可能エネルギー等の持続可能なエネルギー利用を増やすこと。
8	経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。	地域経済の活性化や雇用の創出を推進するとともに、労働者の待遇の改善に貢献すること。
9	インフラ、産業化、イノベーション	強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	道路や橋等のインフラ整備を担うとともに、地元企業の支援等を通じて産業創出やイノベーションに貢献すること。
10	不平等	国内及び各国家間の不平等を是正する。	差別や偏見の解消を推進し、少数意見を吸い上げつつ、不公平・不平等のないまちづくりを行うこと。
11	持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	災害時等に市民の安全を確保し、都市機能が強靱に維持される持続可能なまちづくりを進めること。
12	持続可能な消費と生産	持続可能な消費生産形態を確保する。	環境負荷削減を推進するため、市民対象の環境教育などを行って市民の意識改革を行うこと。
13	気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	従来の温室効果ガス削減といった緩和策だけでなく、気候変動に備えた適応策の検討と策定を行うこと。
14	海洋資源	持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。	まちの中で発生した汚染が河川等を通して海洋に流れ出ることがないように必要な汚染対策を講じること。
15	陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。	国や周辺自治体、その他関係者と連携して、土地利用計画を通じて自然生態系の保護を行うこと。
16	平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。	地域内の多くの市民の参画を促して参加型の行政を推進して、暴力や犯罪を減らすこと。
17	実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。	公的／民間セクター、市民、NGO／NPO等の多くの関係者を結び付け、多様な主体の連携を促進すること。

参考：一般財団法人 建築・省エネルギー機構「私たちにとってのSDGs（持続可能な開発目標）－導入のためのガイドライン－」

VI 今後推進されるまちづくりについて

問 6-1 現在、市では須坂長野東 IC（インターチェンジ）付近を開発する構想を推進しています。須坂長野東 IC 付近の新しい開発エリアに対して、あなたが求める機能は何でしょうか。以下からあてはまるものをお選びください。

(3つまで○)

1. 食事をゆっくり楽しめる機能
2. 子どもや親子が安全に遊べる機能
3. 地域の人々が交流できる機能
4. 高齢者が集える機能
5. 健康づくりやスポーツができる機能
6. 文化・芸術活動ができる機能
7. 緑化・景観のための機能
8. 防災・避難のための機能
9. 交通の要衝としての機能
10. 産業技術が集まり、新たな産業を創出する拠点としての機能
11. 人材を育成する機能
12. ICT時代の新しい暮らしに対応する機能
13. 農業と商業と観光をつなげる機能

問6-2 須坂駅や駅周辺の施設・お店と、須坂長野東IC周辺の新たな拠点の連携のあり方についてご意見やアイデアがありましたらお書きください。

また、須坂長野東 IC 周辺開発全般についてもご意見があればご自由にお書きください。

問 6-3 第五次須坂市総合計画では、重点プロジェクトとして健康長寿発信都市「須坂 JAPAN」を掲げ、市独自の保健補導員制度を中心に健康長寿の増進、地域資源の活用 of 取り組みを行ってきました。あなたは「須坂 JAPAN」をどの程度知っていますか。

(1 つに○)

1. 内容まで知っている 2. 名前だけ知っている
3. 知らない

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

みなさんと一緒に考える未来のまちづくり 「須坂2030」

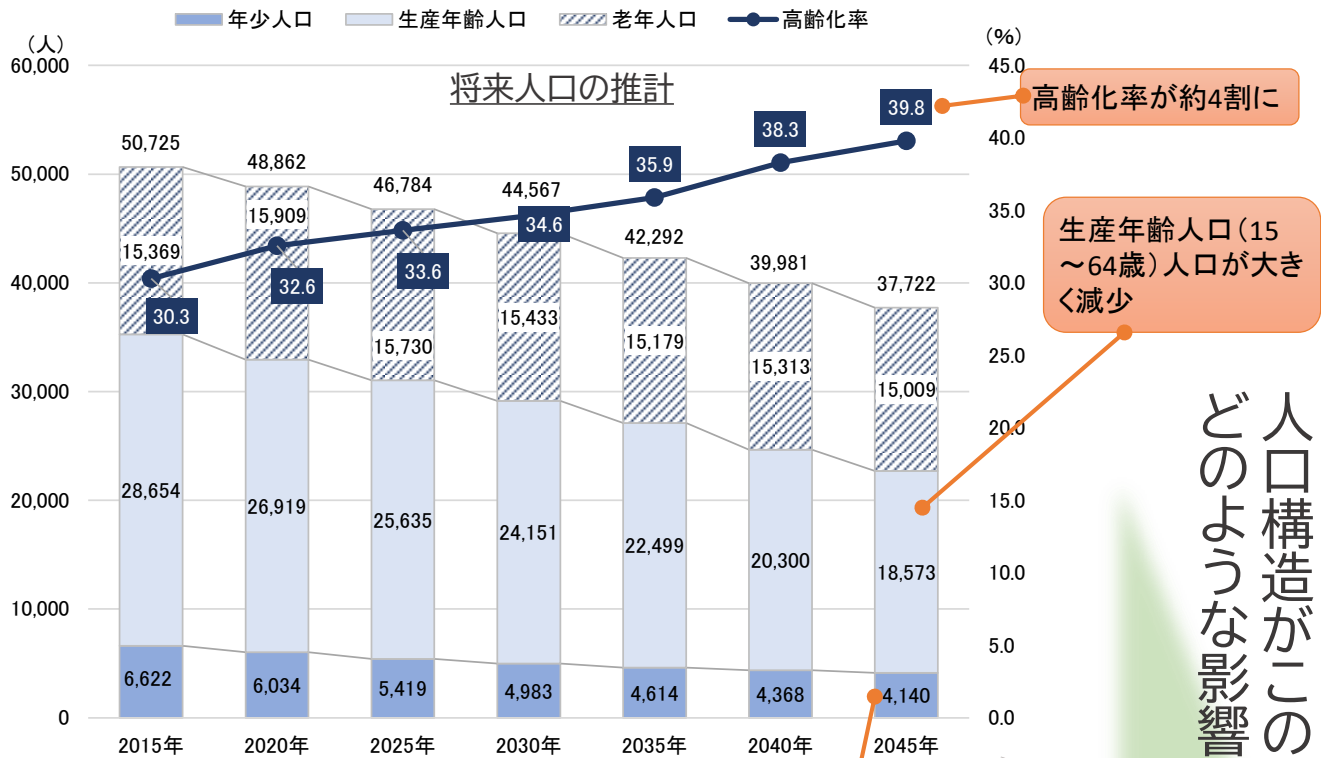
2030年に向けて、 このまちをどう変えていきたいですか？

この資料は、須坂市を取り巻く環境がどのように変わっていくのか
データを紹介しながら、10年先の未来予測をしています。

さまざまな厳しい条件はありますが、
この先、どんな須坂になってほしいか、
そのためにどのようなまちづくりをしていけばいいのか？
ご意見をお聞かせください。



本格的な人口減少社会・超高齢社会が すでにはじまっています。

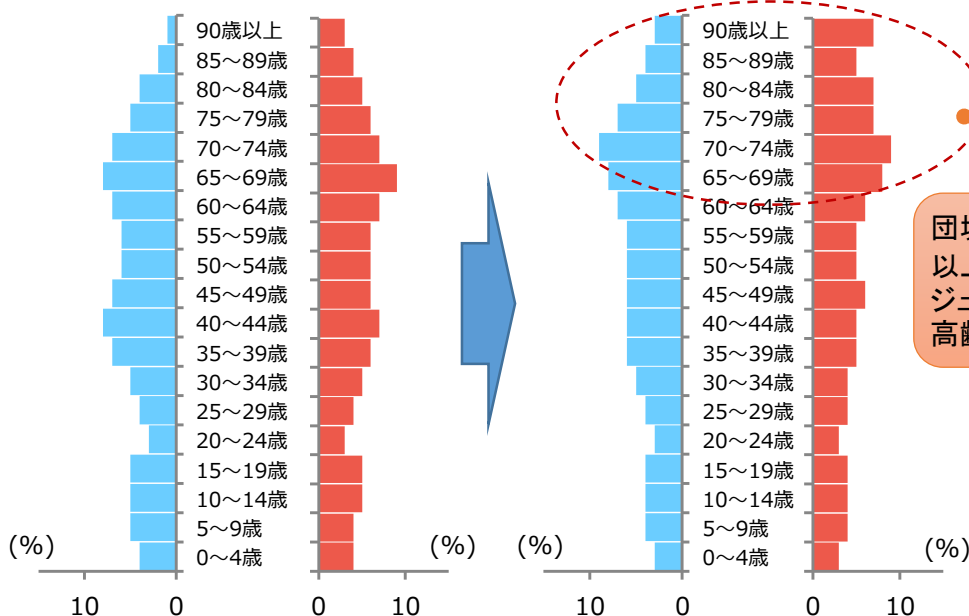


人口構造がこのように変わると須坂市の行政運営に
どのような影響が起ころうでしょうか？

人口ピラミッド(人口構造)の変化

2015年

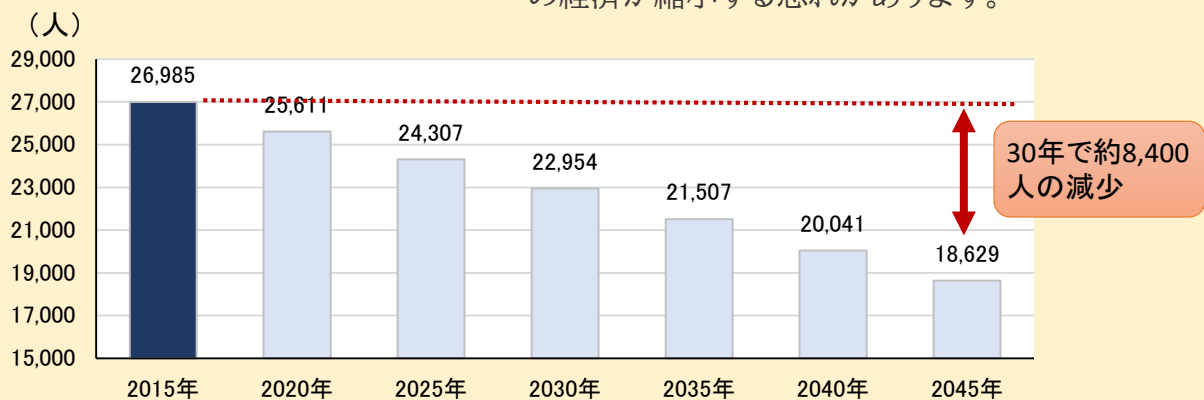
2045年



出典: 内閣府「RESAS-人口マップ」

①労働力人口の減少

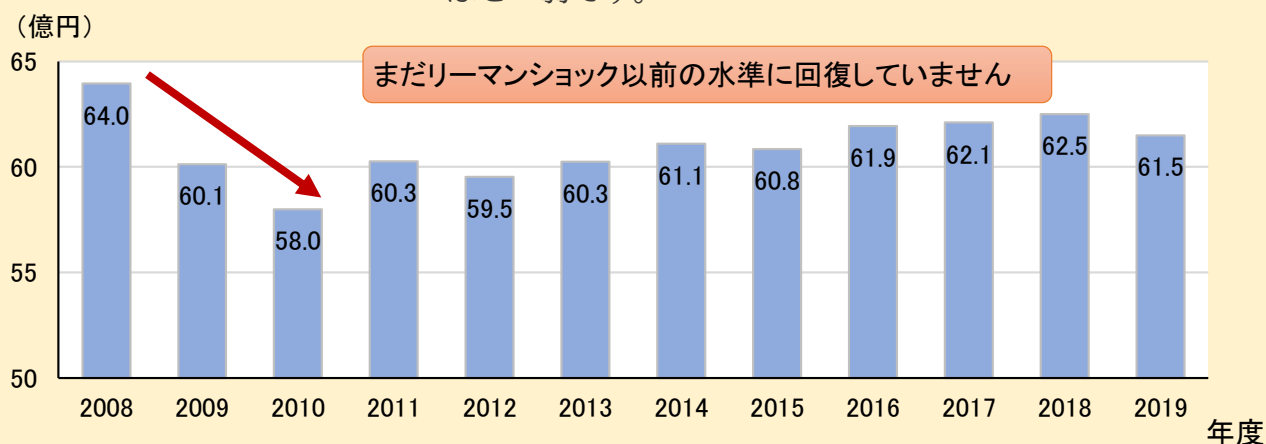
働く世代が減少し、労働力が不足するとともに地域の経済が縮小する恐れがあります。



出典：2015年国勢調査。2015年の性・年代別労働力と将来人口推計（社人研）より労働力人口を算出

②税収の減少

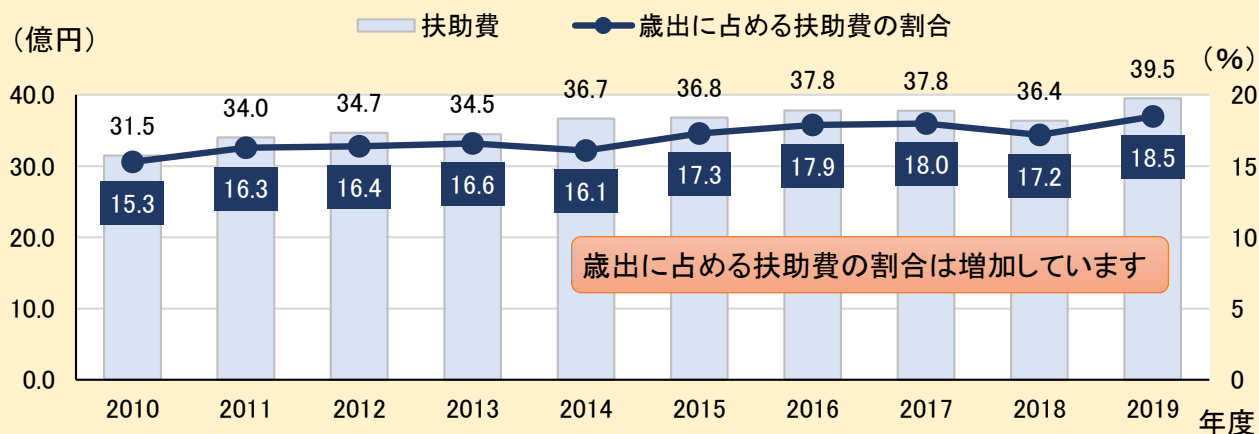
景気回復傾向が見受けられますが、市民一人あたりの市税収入額は2017年度決算で19市中17番目に低く、財政基盤はぜい弱です。



注：2018年度数値は決算速報値、2019年度数値は当初予算額

③社会保障費(扶助費)の増加

医療や介護が必要な高齢者が増えるほか、子育て支援の充実により社会保障費が増え続けています。



注：2018年度数値は決算速報値、2019年度数値は当初予算額

既存事業の見直しを進めない、
収支のバランスが崩れ財政運営が厳しくなる予想

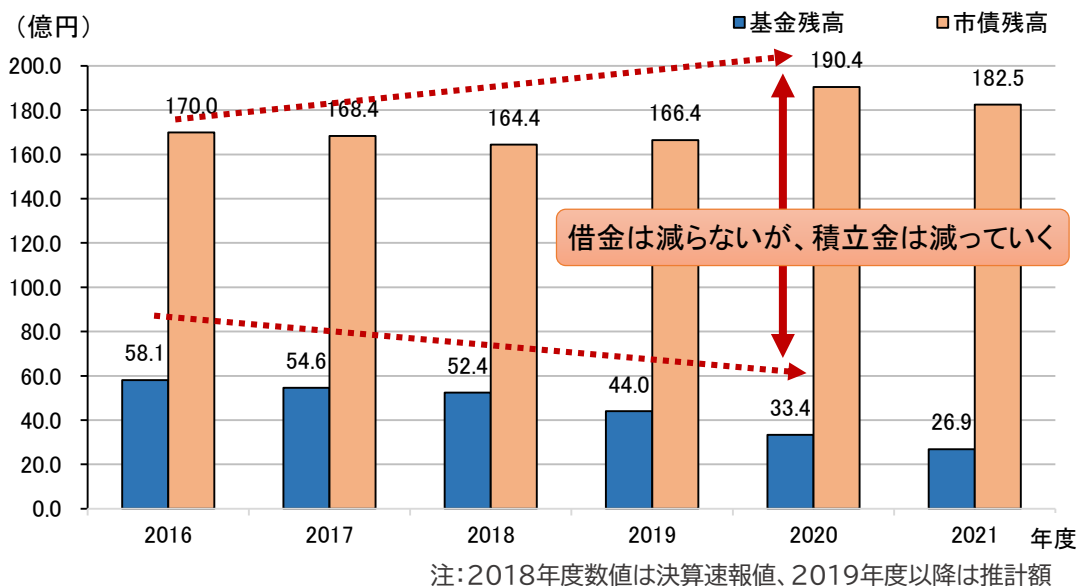
厳しい財政状況が続く見込みです

市では行財政改革チャレンジプランに沿った改革を進めていますが、税収が伸びない中、貯金は減り、返済額は横ばいの厳しい財政状況が続く見込みです。

一方、現事業の見直しや無駄な支出を抑え、社会変化や市民ニーズに対応するための新たな政策へのチャレンジも必要になってきます。

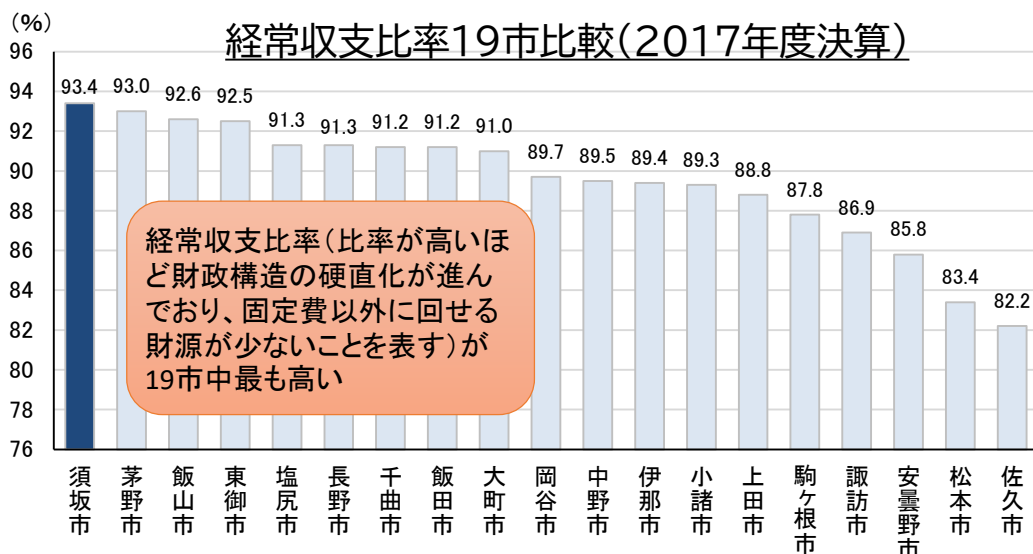
ごみ処理施設整備や公共施設の長寿命化事業などにより、基金残高(貯金)は減っていく見込みです。また、文化会館の耐震補強や学校給食センター建設など、将来にわたって市民が使い続ける資産への有効投資のための借入金(市債)もあるため、市債残高は増える見込みです。

基金残高および市債残高



財政に余裕がなく、新たな政策に回すお金がほとんどない厳しい状況です。これからの新たな市民ニーズや社会変化に対応するには、固定費(既存の政策)を見直し、新しいチャレンジができるようにしていくことが大切です。

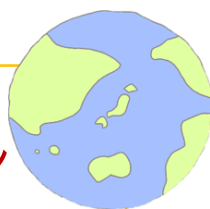
経常収支比率19市比較(2017年度決算)



一方、須坂市を取り巻く環境変化は…

総合計画が目指す2030年—世界、日本はこう変わる

世界



アジア・アフリカで人口が増え、食料・エネルギー問題が深刻に。

- 世界人口がアジア・アフリカを中心に、**10億人増**
- 食糧やエネルギーの需要が増加
- 中国の人口が14.5億人でピーク(2029年)、実質GDPも世界一に
- 東南アジアなど**新興国の経済成長**が進み、日本の存在感は縮小
- グローバル化がいつそう進み、人、モノ、情報の動きが世界規模で活発に

日本



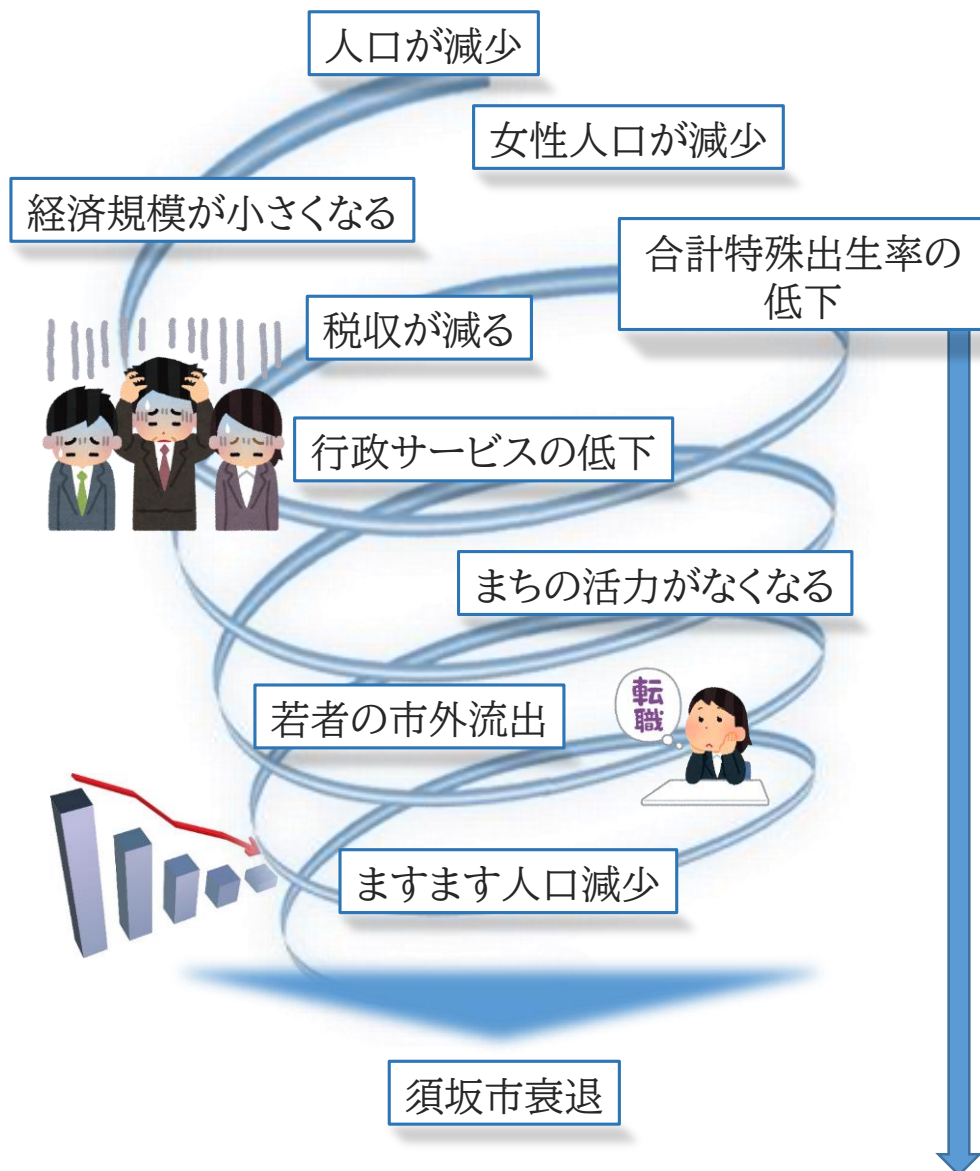
第4次産業革命による効率化が進み、人の働き方や生活が大きく変わります。

- 元気高齢者が増え、**人生100年時代**へ。定年の引き上げにより**働くシニア**が増える
- 労働力人口が減り、**AIやロボット、外国人労働力**の活用が進む
- 働き方が多様化し、**地方移住**が進む
- リニア中央新幹線が開業し、かつてない**スーパー・メガ・リージョン**が誕生
- **自動運転**や**燃料電池自動車**の普及により、人やモノの移動が大きく変わる
- ドローンやセンサーを活用した**スマート農業**が拡大

—
これからの激動の十年、須坂市がたどるシナリオは…

考えられる最悪のシナリオ～負のスパイラル

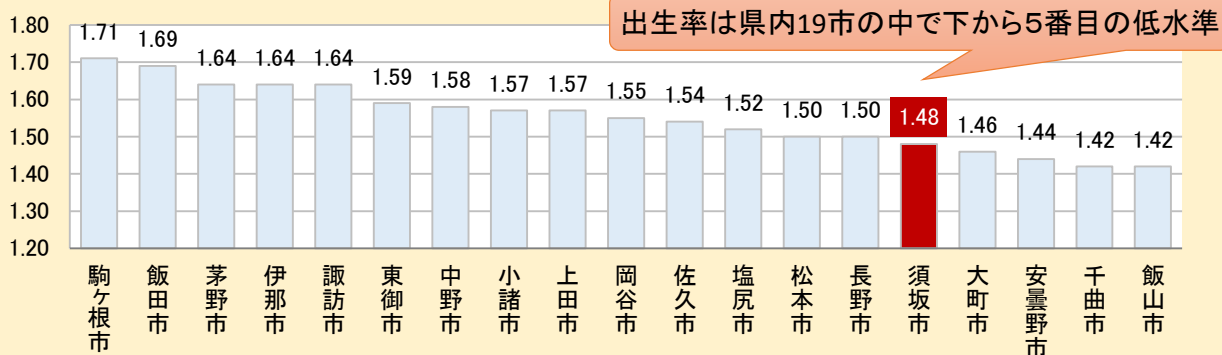
人口が減ることまちの活力やサービスが低下し、ますます人口が減ってしまうという負のスパイラルに陥らないために、これからの10年のまちづくりがとても重要です。



<こうならないためには・・・>

出生率アップに向けて、子育てにわたたかい社会の雰囲気づくり、各種制度の整備、市民の見守りなど、子どもを産み育てたいと思えるまちづくりに取り組む必要があります。

合計特殊出生率<2008年～2012年>



出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計(人口動態統計特殊報告)」2008年～2012年

目指すべき良いシナリオ～持続可能なまちづくり

子ども、若者、子育て世代、働き盛り世代、シニア…どんな世代も安心して生き生きと暮らせるまちをこれからの10年で目指していきましょう。

人口減少は止められないが…

農業や工業で
外貨を稼いでいる

健康づくりに努め
地域で助け合うまち

まち全体で子育て
を見守るまち

地元に活気ある
職場がある

元気なシニアが
活躍している

子どもを産み育て
やすいまち

税収の維持・増加

女性が子育て
しながら働ける

若者の地元定着
・Uターン促進

市民ニーズや社会に対応した
柔軟な行政サービスを実施

合計特殊出生率
の維持・上昇

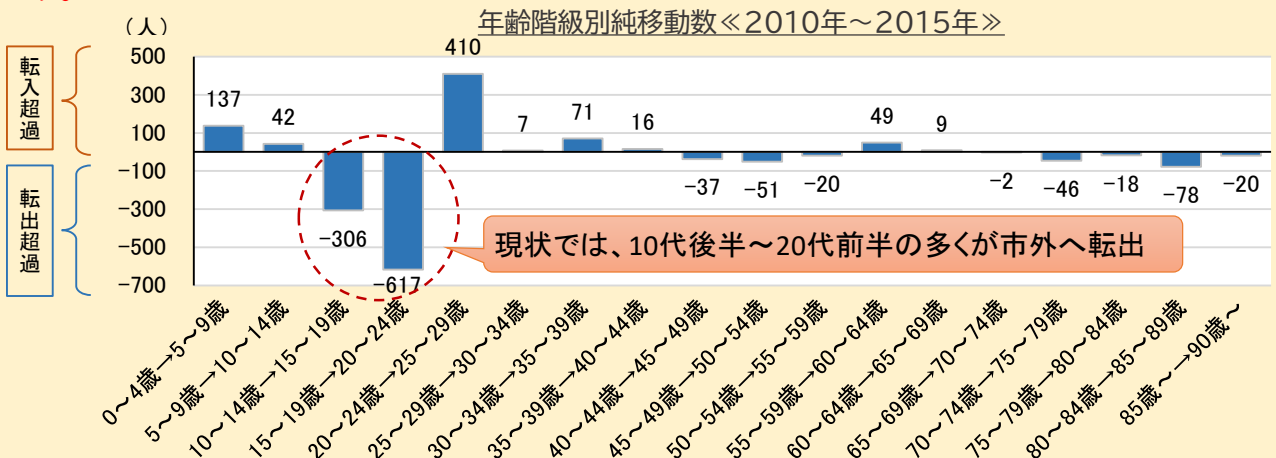
どの世代も安心して
豊かな暮らしができる

都市部から移住者の増加

人口減少を最小限に食い止め
持続可能な須坂市へ

<実現するためには…>

若者の流出を食い止めるため、若者が活躍したいと思える魅力的な社会環境や仕組みづくりが必要です。



出典：内閣府「RESAS－人口マップ」 純移動とは転入数から転出数を差し引いた数

悪いシナリオを回避し、良いシナリオを実現するためには、
須坂の強みをいかしながら、
時代変化に柔軟に対応していくことが求められます。

具体的には？

「選択と集中」の行政運営

限りある行政資源(ヒト・モノ・カネ)を優先度の高い政策に集中させることが大切です。そのためには、政策の効果をしっかりと評価・検証し、無駄がないか見直していく必要があります。



市民と「共創・協働」のまちづくり

須坂市には市民活動が盛んな歴史があります。今後もその強みをいかして、市民一人ひとりや地域ができること、行政がすべきこと、ともに協力できることを話し合いながら進める、共創・協働のまちづくりが必要です。



10年後、20年後も活力ある須坂であるために、
これからどんなまちづくりに重点を置けばいいでしょうか。
また、わたしたち一人ひとりが出来ることは何でしょうか。

同封のアンケートでご意見やアイデアをお聞かせください。